

学校法人河原学園 河原アイペットワールド専門学校
平成 29 年度 第 5 回 学校関係者評価委員会 議事録

平成 29 年 9 月 7 日

開会:平成 29 年 9 月 7 日 17:00 より、河原アイペットワールド専門学校にて、進行 川邊 大介 より、河原アイペットワールド専門学校 平成 29 年度 第 5 回学校関係者評価委員会の開催が宣言されました。

出席者: 委員長 : 河原アイペットワールド専門学校 校長 石川 達也
副委員長 : 河原アイペットワールド専門学校 事務長 川邊 大介
第 1 号委員: 河野 美和・・・在校生保護者
第 2 号委員: 森岡 大輝・・・卒業生
第 3 号委員: ひごペットフレンドリー エミフル松前店 川原 佑樹・・・就職先企業
第 5 号委員: 南堀端町内監事 谷口 祐一・・・地域の有識者
第 6 号委員: 松山ほうじょう動物クリニック 獣医師 塚田 祐介・・・教育課程編成委員会メンバー
日本ケアドッグ協会事務長 石城 まゆみ・・・教育課程編成委員会メンバー
第 7 号委員: 校長 石川 達也
第 8 号委員: 事務長 川邊 大介・・・校長指名の学内管理者
動物看護師学科 本山 陽子・・・校長指名の学内管理者
グルーマー学科 長谷 歩・・・校長指名の学内管理者
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科 本多 祐剛・・・校長指名の学内管理者
欠席
第 4 号委員: 松山東雲高等学校 校長 谷本 賢治・・・高校教員
第 6 号委員: ペットサロン松山代表取締役 井手 一夫・・・教育課程編成委員会メンバー

1.校長挨拶

2.外部委員紹介

3.内部委員紹介

4.平成 28 年度自己点検評価報告(川邊)

(1) 平成 28 年 12 月 10 日 (土) 11 日 (日) の 2 日にわたり、平成 28 年度文部科学省委託「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業として第三者評価を受審しました。

結果、不適合項目は 0、オブザベーション(第三者審査における不適合の結果の度合いの中でも最も軽微な指摘)は 12 項目で、現在、改善に向けた取り組みを開始しています。

今回、全国動物専門学校協会が「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業実績報告書作成に当たり、今後展開する第三者評価において多くの学校の参考になるような適切なエビデンス(証拠)であった資料を文部科学省提出の実績報告書に掲載し、動物看護師養成教育の質向上に繋げていければという連絡があり、現地審査でも評価が高かった

- ① コマシラバス(履修判定資料)
- ② コマシラアンケート
- ③ コマシラバス評価表
- ④ 科目アンケート
- ⑤ 授業参観評価指標

の 5 項目について報告書掲載となりました。

(2) 在籍率、休学率、出席率、進級率、卒業率、進級率、進学率、就職内定率について報告資料に基づき報告した。

①在籍率

単年度在籍率、入学時卒業通年在籍率は目標の 97%、95%には達していないものの、徐々にではあるが単年度及び入学時卒業通年在籍率は改善している。

②休学率

年度内の休学者は 2 名いたが、2 名とも年度内に退学となったため、平成 28 年度の休学者は 0 名となった。精神的な要因による休学であるため、専門家によるカウンセリングを導入している。

③出席率

平成 28 年度については、精神的事由による欠長期欠席 3 名(3 名とも退学となった)が全体の出席率を下げる結果となった。

④進級率

休退学者が出たことにより目標値の 97%は達成できなかった。平成 28 年度においても精神的疾患や経済的事由以外のいわゆる学業不振者での進級卒業要件を満たさない学生はいない。

⑤卒業率

2 年次に精神的事由による退学者が 2 名出たため目標の 100%(卒業年次 5 月 1 日時点の在籍者数分母)を達成できなかった。

⑥進学率

本校が動物関連の職業教育を使命とする以上、本来学生の大学、大学院、他の専門学校への進学は本校教育の主意とするところでない。しかし、学生本人が入学当初とは全く異なる職域への関心に目覚めることは十分にあり得え、平成 25 年度に 1 名が河原学園内の姉妹校へ再入学した。

⑦就職内定率

平成 28 年度は、結婚 2 名、卒業優先 3 名を除く全員が内定獲得することができ、最終内定日は 1 月 22 日であった。内定時期については年内全員内定獲得を目標に活動をしていたが、3 名が 1 月となった。(資料 2 参照)

また、H27 年度より、河原学園就職キャリア支援センターを設置し、河原学園全体としての学生支援機関としての取組を開始した。

(3) 教育活動、成果

- ①各学科の専門性を高めるためのコース開設、就職キャリア支援センターとの連携を行い、より業界ニーズに則した人材育成を行なう。
- ②各科カリキュラムはカリキュラムリーダを中心として、より専門的な技術を学べる環境を構築するため、インターンシップ実習受け入れ企業を中心とした訪問を長期休暇中に実施していく。

(4) コア資格

学科の扱う特定職域への関連性が高く、その取得教育(直接的な資格試験対策にかぎらず)がカリキュラムを組織的に編成する要因に含まれている。カリキュラムは中間目標であるコア資格が取得できるように編成され、全学生が原則的に、コア資格を受験、取得するように指導されている。

- ①動物看護師合格率・・・100%
- ②トリマーライセンス C 級合格率・・・100%
- ③家庭犬トレーナー 2 級合格率・・・90.9%

6.質疑応答

(河野様より)

最終的な就職が気になっていたため、報告を聞いて安心した。

⇒(門田)

就職活動スケジュール、サポート体制について説明。

⇒(河野様)

学校に行くのが楽しみと息子は言っている。

実習内での教員が怪我をした際に、学生に向けて言った教員の話が感動した、と話してくれた。

(森岡様より)

インターンシップ実習生に求めることとして、普段の癖や溜め息なども見られていることを自覚しておいてほしい。

勝手な自己判断で、言われている作業が終わったからと、伺いも立てずに勝手に座り休憩してしまっている学生もいた。

実習前指導では、教員からの指導もちろん必要だが、卒業生に協力を得て心構えなどの講話を行ってもいいのではいか。

(石城様より)

非常勤講師がいるため、甘えた対応になってしまっている光景も見る。一線を引くべきだと感じる。また、他の実習先の業界内での評判なども躊躇なく聞いてくる。他言することはないが、業界内での繋がりもあるので、そういった言動が自分にとって損なことに繋がる可能性があることを感じるべき。

⇒(本山・門田)

実習生の指導を再度徹底して行っていく。卒業生講話も前向きに検討します。

(川原様より)

近年入社してくる者について。「目標を立てるのが下手」「向上心が低い(⇒向上心がないと成長できないと思っている)」「漢字・計算が苦手な子が多い」と感じている。

「時間を意識する訓練」「%などの基礎的な計算」「漢字などの基礎学力の向上」「向上心・目標をもつこと」について学校でもやってほしい。

⇒(本山・長谷)

仰る通りだと思う。基礎学力の低下は学校側も感じており、市販のドリルなどを用いて授業外で対応はしている。指摘項目について、しっかり対応していきたい。

⇒(川原様)

企業側は、目的意識がはっきりしている学生が欲しいと思っている。

(谷口様より)

自転車・歩行者に気を配って散歩している様子をよく見かける。地域内での学生による問題行動は特に感じていない。

ホテルに勤めており採用に携わっており、姉妹校の学校と繋がりがあがる。姉妹校の学校のように教員が急に変わると学生も困るだろうと感じている。

学校での教育にも限界があるのは、企業も承知している。

(河野様より)

学校から帰ってきたときの顔色を見て、声掛けをしている。年齢的に自分から言わないこともあるが、幸いにもうちの子は、学校での出来事をよく話してくれる。

7.次回日程について

平成 30 年 8 月下旬を予定。

平成 30 年 7 月下旬に案内する。

8.校長挨拶

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

実施日: 2017/08/25

1. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
1-1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1
1-3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1

コメント

- ① 本校の「教育理念」は、「人と動物との理想の関係を目指して」を教育の基本理念とし、動物愛護の精神に基づき、動物、ペットの健康管理や飼育管理の専門能力を有した人材を育成・排出し、地域社会の発展に貢献する。」と明確に示されている。
- ② 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、インターンシップ実習、非常勤カリキュラム編成会議などを通じ明確に示されている。
- ③ 本校の「教育理念」や「教育方針」「指導目標・共学目標」等はホームページによって、学校内外に公表、周知されている。学生には、同様の内容が明記された「学生の手引き」が、新年度の初めに配布され、新入生オリエンテーションやSHを利用して説明している。保護者には入学前保護者説明会や入学後の3者面談などを通じ周知している。また、企業等の関係者にも上記内容が記載された「学校案内」を求人票とともに配布している。

2 学校運営		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか(教務・財務意思決定システム制度は整備されているか)	④	3	2	1
2-3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1
2-4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	④	3	2	1
2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1

コメント

- ① 「人と動物との理想の関係を目指して」を教育の基本理念とし、動物愛護の精神に基づき、動物、ペットの健康管理や飼育管理の専門能力を有した人材を育成・排出し、地域社会の発展に貢献する。」に則り、学校運営計画書に基づき運営を行っている。
- ② 学校運営計画書に動物看護・栄養管理学科、トリマー学科、ドッグトレーナー・ペットビジネス学科それぞれの目標値を明記している。また、教務会議を毎週、職員会議毎月実施し、意思決定統一を図っている。
- ③ 自己点検評価報告書を作成し、HPIによる公表も行っている。
- ④ 校務分掌、学則(細則)、校内運営会議規程、業務分担一覧などで明確に指定され機能している。
- ⑤ 自己点検評価報告書を作成し、HPIによる公表も行っている。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

3 教育活動		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1
3-1	教育理念に沿った運営がされているか	④ 3 2 1
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
3-3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
3-4	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	④ 3 2 1
3-5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④ 3 2 1
3-6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、手段、スケジュールは適切か)	④ 3 2 1
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
3-9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
3-10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか	4 ③ 2 1
3-12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	④ 3 2 1
3-13	動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	④ 3 2 1
3-14	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	④ 3 2 1

コメント

- ① 「人と動物との理想の関係を目指して」を教育の基本理念とし、動物愛護の精神に基づき、動物、ペットの健康管理や飼育管理の専門能力を有した人材を育成・排出し、地域社会の発展に貢献する。」に則り、学校運営計画書に基づき教育課程の編成・実施方針等が策定されている。
- ② 教育理念や学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、インターンシップ実習、非常勤カリキュラム編成会議よりいただいた情報については、コマシラバスに反映され明確にされている。
- ③ カリキュラム概要一覧により体系的に整備され、コマシラバスに反映され明確にされている。
- ④ 全科目においてコマシラバスは作成され、学生に配布されている。
- ⑤ コマシラバスアンケートや授業アンケートを前期後期に全学生に実施し授業改善に取り組んでいる。
- ⑥ コマシラバスアンケートや授業アンケートによる評価だけでなく、2～5コマ毎に実施している授業評価テストにおいて、授業方法が適正かどうか判断修正を行っている。
- ⑦ 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、インターンシップ実習、非常勤カリキュラム編成会議などより、企業ニーズを取り入れている。
- ⑧ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準についてはそれぞれ定められており、卒業判定会議、進級判定会議にて決定している。
- ⑨ 学校教育法第124条に該当する専修学校として、関係法令の規定・基準を見達している。教員の新規採用に際しては、専任・兼任に関わらず、担当予定教科科目の教員資格要件を充たしているかどうか、履歴書(獣医師、動物看護師、グルーマー、訓練士などの資格書類・職務経歴書など)、要件確認に必要な書類を提出させ、厳密に審査・確認を行っている。
- ⑩ 教員研修については、教員研修計画を毎年作成し、動物関連のみならず教員としてのスキルアップに関しても実施している。
- ⑪ 全カリキュラムはコマシラバスにより1コマ1コマの内容(教育目標)が明確になっており、使用教材なども明記されている。
- ⑫ コマシラバスアンケートや授業アンケートを前期後期に全学生に実施し授業改善に取り組んでいる。
- ⑬ 動物飼育規約が制定されており、新入生オリエンテーション時に配布し、説明を行っている。また、毎週の飼育当番引継時にも使用している。
- ⑭ 電子情報上の個人情報取り扱い細則を設定しており、適切に設定されている。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

4 学修成果		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
4-3	入学者に対する卒業率はどうか(過去3年間)	4 ③ 2 1
4-4	在籍率・退学率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
4-5	出席率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
4-6	休学率の向上が図られているか	④ 3 2 1

コメント

- ① 学校基本調査、自己点検・評価報告書に報告公開しているが、就職希望者分母においては、動物看護・栄養管理学科－内定率100%、トリマー学科－内定率100%、ドッグトレーナー・ペットビジネス学科－内定率100%を達成している。
- ② 動物看護・栄養管理学科－認定動物看護師100%、トリマー学科－JKCTリマーライセンスC級100%、ドッグトレーナー・ペットビジネス学科－家庭犬トレーナー90.9%(3学科ともに学科のコア資格)の結果となっている。

③

学科	年度	卒業年次卒業率	入学時卒業通年	進級率
			卒業率	
動物看護・栄養管理学科 (旧学科名:動物看護師学科)	平成28年	100%	88.90%	88.90%
	平成27年	100%	87.50%	87.50%
	平成26年	100%	75.00%	75.00%
トリマー学科 (旧学科名:グルーマー学科)	平成28年	100%	91.70%	91.70%
	平成27年	100%	76.00%	76.00%
	平成26年	100%	84.60%	84.60%
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	平成28年	84.60%	84.60%	100%
	平成27年	94.10%	94.10%	94.10%
	平成26年	86.70%	81.30%	87.50%

○卒業年次卒業率定義

卒業率=当該年度の卒業者数÷当該年度5月1日現在の卒業年次在学者数○入学時卒業通年卒業率定義

卒業率=当該年度の卒業者数÷当該年度卒業年次者の入学年度5月1日現在の在学者数

○進級率定義

進級率=当該年度の進級者数÷当該年度進級年次者の入学年度5月1日現在の在学者数

○目標値

卒業年次卒業率の目標値は、100%とする。

入学時卒業通年卒業率の目標値は、95%とする。

進級率の目標値は、単年度98%以上とする。

④

学科(学年)	学年	単年度		入学時卒業通年	
		在籍率	退学率	在籍率	退学率
動物看護・栄養管理学科	1年	86.40%	13.60%	—	—
動物看護師学科	2年	100%	0%	88.90%	11.10%
トリマー学科	1年	91.70%	8.30%	—	—
グルーマー学科	2年	100%	0%	91.70%	8.30%
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	1年	90.90%	9.10%	—	—
	2年	84.60%	15.40%	84.60%	15.40%

○単年度在籍率・退学率の定義

在籍率=当該年度の5月1日以降の当該時点の在籍生数÷当該年度の5月1日現在の在籍生数単年度

退学率=当該年度の5月1日以降の当該時点の退学者数÷当該年度の5月1日現在の在籍生数単年度

○入学時卒業通年在籍率・退学率の定義

在籍率=当該年度の5月1日以降の当該時点の在籍生数÷入学年度の5月1日現在の在籍生数

退学率=当該年度の5月1日以降の当該時点の退学者数÷入学年度の5月1日現在の在籍生数

○目標値

在籍率の目標値は、単年度97%以上、入学時卒業通年95%以上とする。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

⑤

学科	学年	単年度出席率
動物看護・栄養管理学科	1年	92.70%
動物看護師学科	2年	97.30%
トリマー学科	1年	96.60%
グルーマー学科	2年	88.60%
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	1年	90.90%
	2年	89.80%

○定義

出席率=当該時点の在校生が出席した科目の授業時間数÷当該時点の在学生在が出席すべき科目の授業時間数

⑥

学科	年度	単年度休学率	入学時卒業通年
動物看護・栄養管理学科	1年	0.00%	—
動物看護師学科	2年	0.00%	0.00%
トリマー学科	1年	0.00%	—
グルーマー学科	2年	0.00%	0.00%
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	1年	0.00%	—
	2年	0.00%	0.00%

○目標値

単年度休学率の目標値は、1%以下とする。

入学時卒業通年の目標値は、2%以下とする。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

5 学生支援		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	④	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	④	3	2	1
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5-5	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
5-7	卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1

コメント

- ① 本校では、学内に就職担当者を配置しており、求人票を掲示し、就職関連図書や企業情報を整備している。また、OBやOGによる相談体制も整えており、過去の受験報告書も閲覧可能な環境にある。受験対策の面でも、個人面談や面接、筆記試験対策を実施しており、学生が安心して就職活動に臨める環境を整備している。
- ② 本校では入学時の面談並びに、4月に学生全員に対して健康診断を実施し、早い段階で個々の健康面での不安を把握している。学内で疾病・傷病の発生時には、医務室での休養の対応をとり、場合によっては保護者へ連絡し、帰宅させている。また、学校医においては、希望者には優先的にインフルエンザワクチンの対応が取れる環境にある。
- ③ 本校では入学時または入学後に、下記の学納金減免及び分納制度並びに奨学金制度、教育ローンの適用や紹介をとおして経済面の支援を行っている。
 - 学納金減免並びに分納制度
 - (1) AO入学特典
 - (2) 特待生制度
 - (3) 推薦特典
 - (4) 自己推薦特典
 - (5) 大学・短大・社会人支援制度
 - (6) 高資格・検定特待制度
 - (7) 家族制度
 - (8) 再入学制度
 - (9) 学納金分納制度
 - 奨学金制度
 - (1) 河原学園奨学生制度
 - (2) 日本学生支援機構奨学金の紹介
- ④ 本校では入学時の面談並びに、4月に学生全員に対して健康診断を実施し、早い段階で個々の健康面での不安を把握している。学内で疾病・傷病の発生時には、医務室での休養の対応をとり、場合によっては保護者へ連絡し、帰宅させている。また、学校医においては、希望者には優先的にインフルエンザワクチンの対応が取れる環境にある。
- ⑤ 本校では入学時または入学後に、下記の各種支援をとおして生活面の支援を行っている。
 - (1) マンション、アパートの紹介
 - (2) 学生寮無料制度の適用
 - (3) 1人暮らし支援制度の適用
 - (4) 通学定期支援制度の適用
 - (5) アルバイトの紹介
- ⑥ 本校は、保護者に学校・学科の方針等や学生の状況について理解していただきたいと考えており、年2回の保護者への成績報告の実施時期だけでなく、1年生は学校の教育方針や保護者の不安を聞き取りするために入学前に保護者対象のオリエンテーションを実施し、欠席者に関しては5月までに必ず担任と面談するよう設定している。2年生においても4,5,6月に就職に軸足をのいた3者面談(学生、保護者、担任※場合によっては教務責任者も同席)を実施している。
- ⑦ 本校では、卒業生に対して職場への適時訪問を実施し、状況を確認している。また、仕事における悩みについても相談の場を設け、転職を希望する際にはアドバイスや求人の紹介をとおして支援している。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

6 教育環境		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
6-2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1
6-3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	4	③	2	1
6-4	自己学習に必要な図書室ないし図書スペースおよびコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1
6-5	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	④	3	2	1
6-6	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1
6-7	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	④	3	2	1

コメント

- ① 本校は、校舎・施設は建築基準法及び消防法その他の法令に準拠して建てられている。校舎は、2004年にアイペットワールド専門学校(旧校名)として、地上4階、延べ床面積1,070.5㎡(本校専有部分面積)で開校された。新築でないため、今後も長期的な計画に基づき校舎施設の維持管理を計画している。
- ② 毎年11月に全学生、全職員と学校飼育動物の避難訓練を実施しており、消防署への届け出も怠りなく実施できている。
- ③ 器具、設備等は、企業で使用され教育に適した形態、機能を有するものであり、実習室に常時設置され利用し得るよう備えている。
- ④ PCについては、無線LANの環境を整えており、学生は自由に使用することができる。また、PCについては無料貸与制度を導入しており、卒業時の返却は定めていない。
- ⑤ 備品管理台帳にて、学内の備品については管理している。故障などについては、随時対応する体制となっている。
- ⑥ グルーミング実習室、トレーニング実習室、動物看護実習室については、毎年年度末に次年度の実習室使用表を作成しており管理できている。
- ⑦ 日本の動物病院やペットサロン、訓練所、ペットショップ等、学生が卒業後目指す動物関連企業の仕事内容やそれらの職業に必要な技能については、日々の授業やインターンシップ実習、学外実習等を通じ認知できているが、世界的にみると日本のペットビジネス業界はまだまだ発展途上国であり、特に動物愛護の観点や職業的社会的地位においては今後更なる発展が望まれる情勢である。
学生達が、ペット業界の中でも最先端といわれる海外の動物関連企業を見学・視察することで日本のペット業界が目指すべき目標点や、日本と海外の動物に対する考え方や各業界の相違点を学ぶことができ、視野の広い職業観や柔軟な応用力の涵養に役立つと考える。
事前学習として、学生を3グループに分け、グループ単位で取り組む課題として、動物園、ドッグショー、トリミング、トレーニング、愛護センター、動物病院は日本とどのように違うか(どのような取り組みをしているのか)をパワーポイントで作成し(7月中旬テーマ提示 9月中旬に発表予定)、夏休み明けに発表させている。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

7 学生の受入れ募集		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
7-2	学納金は妥当か	④	3	2	1
7-3	学力の不足や障がいに対する特別な対応をしているか	4	③	2	1

コメント

- ① 本校では募集活動にあたり、募集要項と学校案内を作成している。募集要項には、本校の教育方針や人材育成目標をはじめ、入試、学納金、支援制度等について、また学校案内には各学科のカリキュラムや授業内容、就職、資格等の教育実績を記載している。これらの情報や内容はHPIにも掲載している。
- ② 事業活動支出で最も大きな割合を占めるのは、他の学校法人と同様、人件費である。本校では、創立以来、専門性の高い専任の教員によるきめ細かな教育指導を追究し続けており、有用な人材を多く確保していることは本校の優位性の一つと言えるが、反面、この教員重視の施策により、人件費比率は、従前より、専修学校全国平均程度ではあるが、若干高い割合で推移してきた。今後は更に18歳人口も減少を続けていくことから、教育の水準は堅持しつつ、カリキュラム改善、教職員の能力開発などを通じて人員配置の見直しを行い、人件費管理を適切に行うことにより、更に財務体質の強化を図っている。
- ③ 教育活動でも述べているが、2～5コマ毎に実施している授業評価テストにおいて、授業方法が適正かどうか理解できているかなど判断し、補講を行っている。

8 財務		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
8-2	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
8-3	財務情報の公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

コメント

- ① 事業活動支出で最も大きな割合を占めるのは、他の学校法人と同様、人件費である。本校では、創立以来、専門性の高い専任の教員によるきめ細かな教育指導を追究し続けており、有用な人材を多く確保していることは本校の優位性の一つと言えるが、反面、この教員重視の施策により、人件費比率(事業活動収入に占める人件費の割合)は、従前より、専修学校全国平均程度ではあるが、若干高い割合で推移してきた。今後は更に18歳人口も減少を続けていくことから、教育の水準は堅持しつつ、カリキュラム改善、教職員の能力開発などを通じて人員配置の見直しを行い、人件費管理を適切に行うことにより、更に財務体質の強化を図っていくことが重要である。
本校については、専修学校全国平均程度の水準で推移しており、問題のない水準を維持している。
- ② 独立監査人による監査は適正に実施されている。
- ③ HPIにて事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。

河原アイペットワールド専門学校自己点検・評価表

9 教育の内部質保証システム		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1
9-5	教職員に対する評価方法、評価スケジュールおよび評価の考え方等が書類として存在するか	④	3	2	1

コメント

- ① 学校教育法第124条に該当する専修学校として、関係法令の規定・基準に則り、校舎面積敷地面積、学生定員数の厳守、カリキュラム(時間数)の厳守、試験による学修評価など厳正に対応しており、変更改正が必要な場合は、学内運営会議にて協議し、学園理事会の承認を取る体制となっている。
- ② 個人情報を取得、利用、保管、その他の取り扱いを行うについて必要な事項を定め、個人情報の適切な保護に資することを目的として「学校法人河原学園個人情報の保護に関する規則」を定め、同規則において、個人情報の利用目的と制限、管理、電子情報上で取り扱う個人情報の保護のための遵守事項、個人情報の保護に関する法律その他関係法令の適用等を定めている。
- ③ 職業実践専門課程の要件として、学校関係者評価については、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、学校で行った全ての評価項目についての評価結果を公表とあるため、本校では年度終了後に自己点検評価表を作成・公開し、学校関係者評価委員会にて意見を徴収している。
- ④ 9-3にもあるとおり、作成・公開している。
- ⑤ 毎年評価については4月(昇給)6月(夏季賞与)12月(冬季賞与)の3回人事考課制度にて評価し、給与などに反映している。評価指標についても、効果基準書に定められている。

10 社会貢献・地域貢献		優良・・・4、適切・・・3、 要改善・・・2、不適切・・・1			
10	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

コメント

- ① 中高校生のインターンシップ実習の受け入れを始め、動物介在活動(アニマルセラピー)や動物教育活動(幼稚園児などにいぬの適切な触り方を教える活動)を教えている。